

2018年9月21日
東ソー株式会社

【大洋塩ビ株式会社】

塩化ビニル樹脂事業の競争力強化策について

大洋塩ビ株式会社（以下、「大洋塩ビ」）は、コスト競争力強化のため、2020年6月末をもって大阪工場を停止することを決定いたしました。

大洋塩ビは、1996年に東ソー株式会社、三井東圧化学株式会社（現在、「三井化学株式会社」）および電気化学工業株式会社（現在、「デンカ株式会社」）の3社で設立、2000年に現在の出資比率に変更し、国内3工場体制で事業を運営してまいりました。

昨今の国内塩化ビニル樹脂の事業環境は、供給過剰の状態に改善がみられず、今後の国内需要についても、人口の減少や住宅着工戸数の減少予測等を背景に、低調に推移することが推定されます。

このような状況下、大洋塩ビは、四日市工場および千葉工場に生産を集約し、生産の効率化とコスト削減を図ることが最適であるとの判断に至りました。

大阪工場停止後は、四日市工場・千葉工場の2工場で、最適生産体制を確立し、競争力を強化する方針です。

以上

《参考》

【概要】

- ・会社名：大洋塩ビ株式会社
- ・資本金：60億円
- ・出資比率：東ソー(株)68%、三井化学(株)16%、デンカ(株)16%
- ・代表者：取締役社長 江守 新八郎
- ・事業内容：塩化ビニル樹脂の製造および販売
- ・生産能力：570,000トン/年（2018年9月現在）
 - 四日市工場：310,000トン/年
 - 大阪工場：158,000トン/年
 - 千葉工場：102,000トン/年

<本件に関するお問い合わせ先>

大洋塩ビ株式会社 管理部 TEL：03-5427-5440